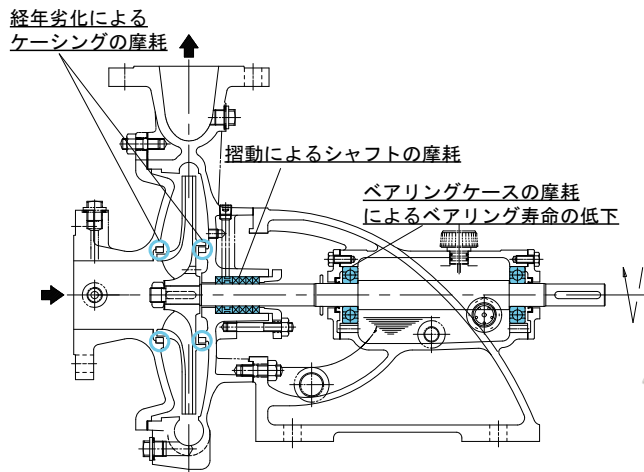


ポンプは工場を運営するに当たって無くてはならない設備であり、数十年使われることも多い。しかしながら、現在のポンプは部品の共有化など、メンテナンス業務の負担を軽減することも考えられており、ポンプ交換により管理業務の軽減に役立つ事が有るのではないだろうか。

ポンプ交換で管理業務を軽減

管理費用の低減とメンテナンス業務の軽減をポンプ交換で実現！



▲長期間運転しているポンプに起こりやすい問題

ポンプの取替時期

90年もポンプを製造していると過去に販売した様々なポンプに出会います。長いものでは約30年間、休まず働いているポンプも数多くあり、お客様に貢献できていることを嬉しく思います。このように、30年以上も使用可能なトリシマポンプですが、交換時期は果たしていつなのでしょう？「壊れてからでは遅いけれども、動いているものを替えるのは惜しい」と言うのが設備を管理している方のお考えだと思います。

知らず知らずのうちにお金がかかる旧型ポンプ

緊急で部品交換が必要なときは迅速な部品調達が必要不可欠です。しかしながら、古いポンプを使い続けることは、現行機種と比べ部品調達に時間が掛かるというデメリットがあります。また、部品の価格も比較的高く、経年劣化によりメンテナンス周期も短くなってきているはず。当然、経年劣化による効率低下も起こっているはず。さらに、ポン

プ毎に予備部品を在庫する必要があります。こういった部品は知らず知らずのうちに結構な金銭的・時間的コストを使っていることが考えられます。

多くのメリットがある新型ポンプ

新型ポンプには大きく分けて、以下の4つのメリットがあります。

- ① 部品の高い互換性
- ② 部品価格が安く、納期が短い
- ③ 消費電力量の低減
- ④ メンテナンス周期の長期化

まず、現在のCAシリーズは、同シリーズの部品間で高い互換性があり、ベアリングやメカニカルシールなどの消耗品の予備品の在庫数が少なく済みます。また、部品価格が従来に比べ比較的安く、迅速に納品されるものが沢山あります。さらに、ポンプの高効率化がなされており、消費電力量の低減にもなります。当然、新品なのでメンテナンス周期も既設ポンプを使い続けるよりも、長くなります。

一般的に、ポンプ交換の検討の際には、工

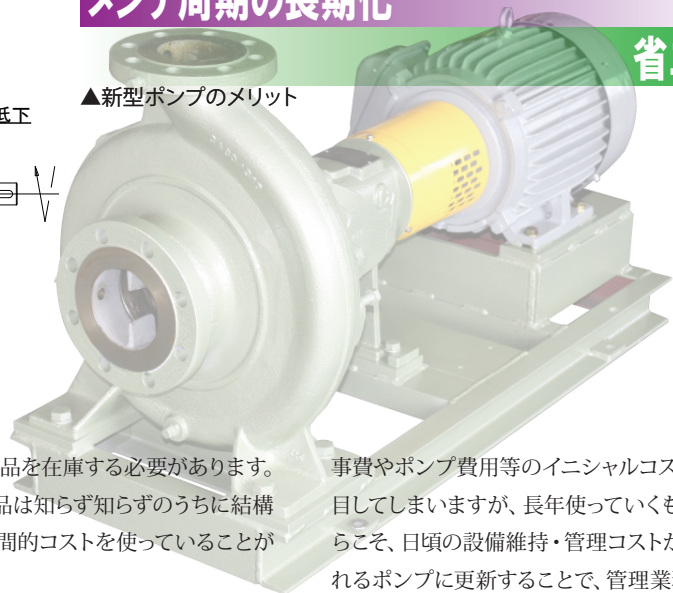
高い部品互換性

部品の低価格 / 短納期化

メンテ周期の長期化

省エネ

▲新型ポンプのメリット



事費やポンプ費用等のインシタルコストに注目してしまいがちですが、長年使っていくものだからこそ、日頃の設備維持・管理コストが低減されるポンプに更新することで、管理業務が楽になるはず。メンテナンス周期が長く、必要なときに迅速に対応できる体制の構築こそが、設備を維持管理していく中で最も重要なことではないでしょうか。

Network

本 社	072(695)0551
東京支社	03(5437)0820
大阪支店	072(696)8018
名古屋支店	052(221)9521
九州支店	092(771)1381
札幌支店	011(241)8911
仙台支店	022(223)3971
広島支店	082(263)8222
高松支店	087(822)2001

地球をポンプで洗濯する。



美しい緑あふれる社会へ。
トリシマはチャレンジします。

